〈エバール®〉新プラント建設決定について

2024年3月27日
株式会社クラレ

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

EVOH樹脂〈エバール®〉

- 化学品名：エチレンービニルアルコール共重合樹脂（EVOH）
  1972年にクラレが世界に先駆けて製造を開始
- 主要特性：包材、容器に使われる樹脂材料として、最高レベルのガスバリア性
- 主要用途：食品包装（内容物の酸化劣化防止）
  自動車燃料タンク
  床暖房パイプ 等

EVOH樹脂〈エバール®〉



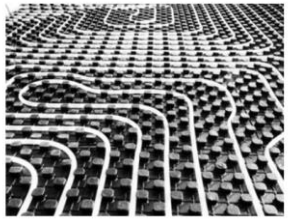
食品包装



自動車燃料タンク



床暖房パイプ



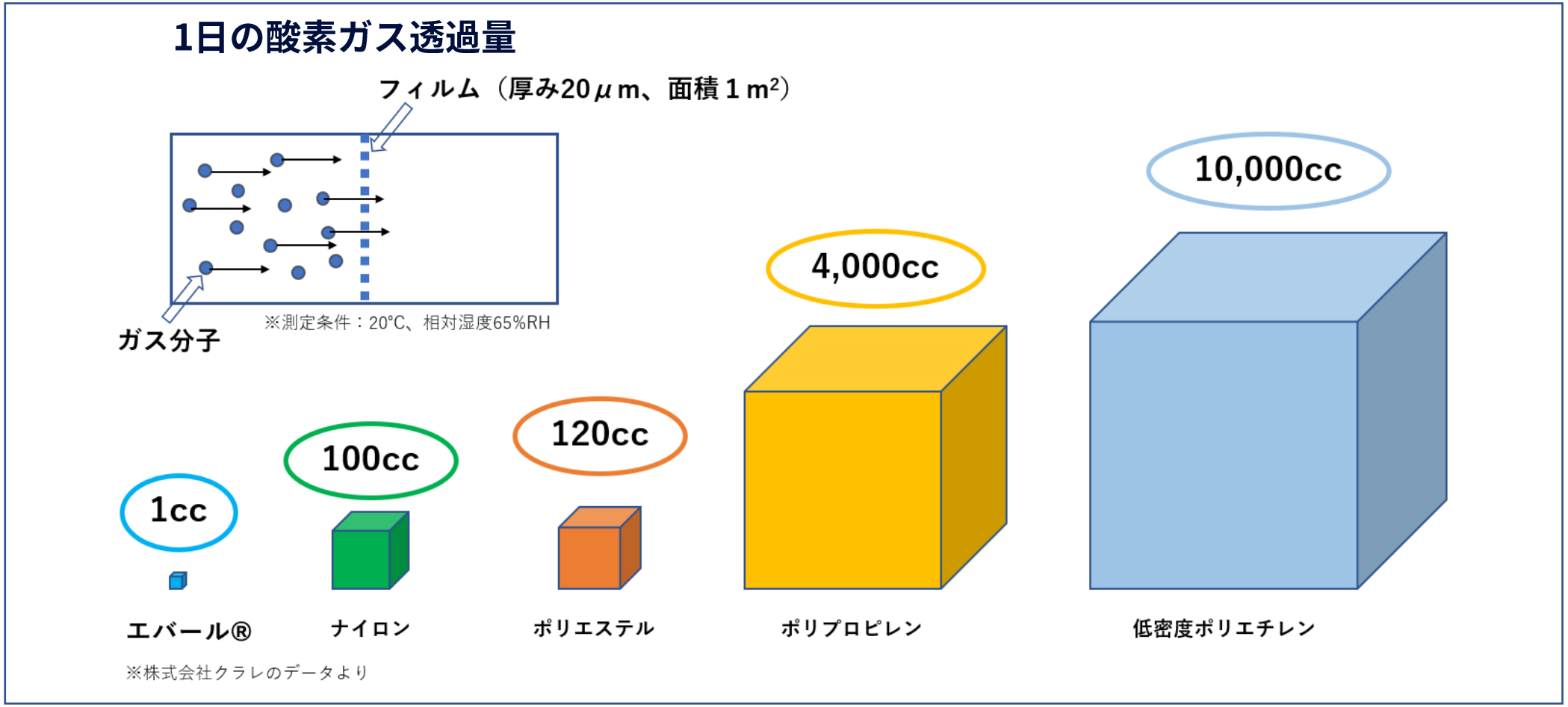
真空断熱板



© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

〈エバール®〉のガスバリア特性

各種ポリマーとのガスバリア性比較



© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

〈エバール®〉新プラント建設決定について

kuraray

- 食品包装用途で世界的に需要拡大（フードロス削減、サーキュラーエコノミー関連）

今般　アジアでの新プラント建設を決定

マーケットリーダーとしての地位をより強固に

- 場　　所：クラレアジアパシフィック社
  （シンガポール ジュロン島）
- 生産能力：年産 18,000ﾄﾝ
  前工程は将来の増設を視野に年産36,000ﾄﾝの能力にて建設
  後工程は2期に分け、今回第1期分を実施
- 稼働開始：2026年末
- 投資金額：410百万米ドル

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

〈エバール®〉グローバルネットワーク

- 市場拡大するアジアでの生産能力増強とグローバルサプライチェーンの強化
- 地域テクニカルサービスの拡充（東南アジア）



地域	年産能力(トン)			拠点
	2023年	2024～2026年増強分	2026年末	
日本	10,000		10,000	岡山
欧州	35,000	＋5,000	40,000	ベルギー アントワープ
米州	58,000	＋5,000	63,000	米国テキサス州 ヒューストン
アジア		＋18,000	18,000	シンガポール
合計	103,000	+28,000	131,000	

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

環境バリア材として〈エバール®〉が選ばれる理由

包材リサイクルの法規制化

- ✓ 欧州（包装および包装廃棄物規則）
  - 2025年：拡大生産者責任（EPR）制度の導入
  - 2030年：リサイクル可能包材への変更が義務化
- ✓ インド等新興国でも法規制が進行

メカニカルリサイクル※の普及

- ✓ ポリオレフィン系単一材料（モノマテリアル）はリサイクル可
- ✓ EVOHはポリオレフィンのリサイクルを阻害しない

- ✓ EVOHによるリサイクル困難なバリア材（アルミ箔、PVDC、蒸着PET、ナイロン）の代替が加速

※ 包装材を再溶融加工し、包装材、生活資材などで再使用するリサイクル方法

ポリオレフィン系の食品包材



※ ポリオレフィンの代表例：ポリエチレン（PE）、ポリプロピレン（PP）

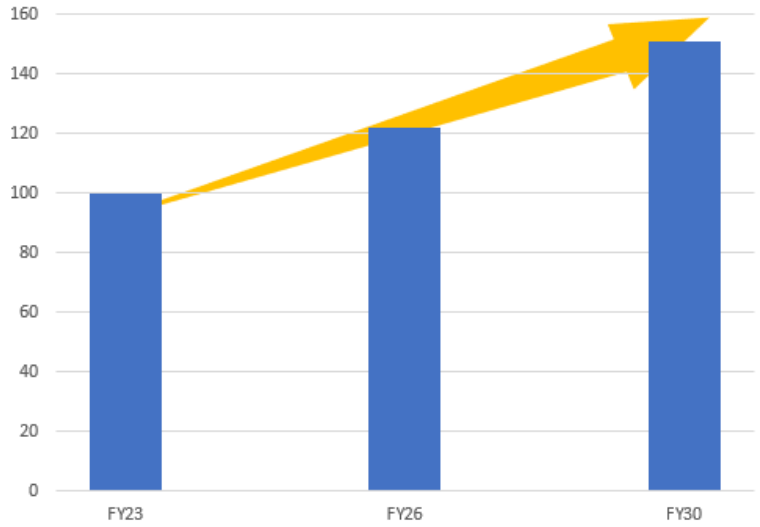
© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

EVOH樹脂 グローバル需要予測

- 新興国の生活水準向上に伴い、高成長が継続
- フードロス削減機運の高まり
- 包材リサイクルの法規制化による環境適応素材ニーズの高まり

年間 5～6%の需要成長率を見込む

＜2023年=100とした場合のEVOH樹脂 市場拡大イメージ＞



© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.



- 本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。
- 本資料での〈〉表記は、クラレグループの商標または登録商標です。

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.